

## 【回答者：町長】

Q： 町民バスを利用しています。診療所や温泉施設を回るよう運行コースの変更はできませんか。

A： 町民バスは朝夕についてはスクールバスでもあり、児童生徒の通学を優先した運行となっております。ご利用の路線からですと、野沢駅前から別な路線に乗り換えることでご希望の施設に行くことはできますが、高齢者の方などには面倒に感じられるのかと思われます。

今後、運行計画の見直しにおいて検討して参ります。

回答日： 平成 22 年 6 月 1 日 担当課： 町民税務課

Q： 町内で生産されるお米について、積極的なPR・生産・販売を推進すべきではないでしょうか。

A： 町では、農薬や化学肥料を減らし、さらに土壌改良を行って生産する地元産米「西会津げんき米」の推進に取り組んでいます。また、毎年、町独自に生産者やJAと協力して、首都圏の米卸会社などへの売り込み、大手スーパーでのPR活動を行っています。

今後も、販売促進活動を積極的に行っていきたいと思えます。

回答日： 平成 22 年 6 月 1 日 担当課： 農林振興課

Q： 農業後継者の育成に取り組むべきではないでしょうか。魅力ある農業の再生を期待します。

A： 農林業の振興のためには後継者の育成が重要な課題であると思えます。現在では、野菜栽培や菌床生産に取り組む就農者も現れ、生産だけでなく加工品開発を含めた取り組みにより農業経営による自立に向けた取り組みを行っています。

また、豊かな自然環境を活かした都市部との交流による農家を交えた活気あるまちづくりにも取り組み、基幹産業である農林業の活性化に取り組んでいきます。

回答日： 平成 22 年 6 月 1 日 担当課： 農林振興課

Q： 町総合計画にもある「こころ豊かな人を育むまちづくり」の充実と促進に期待します。

A： 人づくりの基本は教育であると思えます。学校・家庭・地域社会の連携により真の学校教育が生まれると考えます。各部局においては、町総合計画に基づきその具体化にむけ取り組んでおります。

回答日： 平成 22 年 6 月 1 日 担当課： 企画情報課

Q： 21世紀を切り開いていくためには、町や議会が一丸となって、町総合計画の追求・達成していくべきではないでしょうか。

A： 町長以下職員、町議会が連携しながら、町総合計画の具現化に向けて取り組むことは当然のことと考えます。まちづくり基本条例に基づく協働のまちづくりの推進に一丸となって取り組んで参ります。

回答日： 平成22年6月1日 担当課： 企画情報課

Q： 米のおいしい保存方法について、農家の知恵などを参考に方法や要領を確立することはできませんか。

A： 従来、一般の農家や家庭では蔵に保管していましたが、現在では専用の保冷庫による保管が広まっています。これらは多くのメーカーから販売されており、多機能タイプが開発されています。おいしい米の保管方法に関する情報を提供することも販売促進につながると思いますので、今後検討していきたいと思っております。

回答日： 平成22年6月1日 担当課： 農林振興課